

No	135	事務事業評価票		所管部長等名	教育部長 北岡 博															
評価対象年度		平成23年度		所管課・係名	図書館 奉仕係															
				課長名	濱田 大祐															
(Plan) 事務事業の計画																				
事務事業名	読書活動の推進			「主なる事業の執行状況調査」における件名又は事業名	図書館図書及び視聴覚教育資料購入費															
会計区分	一般会計																			
予算の事業名	図書館管理運営費		子ども読書活動推進事業	図書館管理運営費(せんちょう)		図書館管理運営費(かがみ分館)														
事業コード(大-中-小)	44	—	01	—	26	44	—	01	—	30	44	—	01	—	32	44	—	01	—	35
施策の体系 (八代市総合計画の実実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第2章 郷土を拓く人を育むまち																		
	施策の大綱(節)【政策】	④文化のかおり高いまちづくり																		
	施策の展開(項)【施策】	①伝統の継承・活用と八代の文化の創造																		
	具体的な施策と内容	(2)芸術・文化活動の推進																		
根拠法令、要綱等	図書館法・八代市立図書館条例																			
実施手法 (該当欄を●)	○ 全部直営		● 一部委託		○ 全部委託		法令による実施義務 (該当欄を●)	○ 義務である		● 義務ではない										
事業期間	開始年度	合併前			終了年度	未定														

(Do) 事務事業の実施									
事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)						
	内容 (手段、手法等)	<p>市民(なお市内事業所への通勤者、市内の学校への通学者を含む)</p> <p>図書資料の貸出し、レファレンスサービスや自主事業等(図書館講座、おはなし会、童話発表大会等)を通じて市民の読書活動の推進を図る。また、利用機会の充実、蔵書の充実やレファレンスサービス等の充実を図ることにより、市民のニーズに応える図書館サービスを提供する。</p> <p>[全体の事業計画]生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、市民の読書活動、学習活動、調査研究活動等を支援し、市民の教育と文化の発展に寄与するため、必要な図書資料等を収集、整理、保存し、貸出又は閲覧に供するとともに、読書活動を推進する事業を行い、学習活動や文化活動の機会を提供する。</p> <p>[23年度の事業概要]図書等の購入、蔵書の充実(貸出傾向やリクエストに基づく図書の整備充実)、施設利用の促進及び資料の貸出・集会室、展示ホール等の貸出し・図書館講座、おはなし会、童話発表大会等の自主事業の実施により読書活動の推進を図った。また、移動図書館による遠隔地巡回図書サービス、レファレンス(調査相談を受け、資料の案内を行う)サービスの充実(紙資料・視聴覚資料・電子資料の提供)等の実施により図書館サービスの向上を図った。</p>							
事業開始時点からこれまでの状況変化等	近年、各種メディアの影響等による、いわゆる活字離れの現象が進行する中で、読書活動の普及が求められている。そのため、図書の貸出業務だけでなく、図書館講座、おはなし会、童話発表大会等の自主事業を行うとともに、レファレンス(調査研究活動の支援)サービスを行い、読書活動の推進を図っている。また、書籍しか資料のなかった事業開始当時と比べると、インターネットやテレビ等で、様々な情報が簡単に手に入るようになり、図書館に求められる個人のニーズも多様化している。そこで、インターネットによる図書の検索、予約サービスを開始し、さらに3館の図書館システムを統合することによって、どの館でも貸出、返却ができるようになった。								
コスト・成果指標の推移									
コスト	総事業費		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込
	事業費(直接経費)		千円	147,660	149,615	143,763	143,425	143,425	143,425
	財源内訳	国・県支出金	千円	6,746	5,265				
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円	110	35	4,551	69	69	69
		一般財源	千円	56,804	67,315	81,812	85,956	85,956	85,956
	概算人件費(正規職員)		千円	84,000	77,000	57,400	57,400	57,400	57,400
正規職員	従事者数	人	12.00	11.00	8.20	8.20	8.20	8.20	
臨時職員等従事者数		人	3.04	4.00	2.35	1.00	1.00	1.00	
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 図書貸出数の増加	各種の読書活動に係る事業を実施することにより、貸出図書の増加につながると考えられるため指標として設定した。	冊	409,506	412,919	454,211 (10%増)	499,632 (10%増)	549,595 (10%増)	604,555 (10%増)
	② 貸出利用者数の増加	各種の読書活動に係る事業を実施することにより、貸出利用者数の増加につながると考えられるため指標として設定した。	人	109,964	112,277	115,084 (2.5%増)	117,961 (2.5%増)	120,910 (2.5%増)	123,933 (2.5%増)
	(記述欄)※数値化できない場合 ※総合計画における指標 利用者数 124,000人								

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 近年、各種メディアの影響等による、いわゆる活字離れの現象が進行 する中で、読書活動の普及が求められている。 八代市立図書館は、図書館法において国民の教育と文化の発展に 寄与することを目的として設置される公共図書館として、市が市民の ために原則として無料で資料や情報の提供等を直接的に行う施設 であり、郷土の貴重な資料を収集し、郷土文化を保存を図る必要が ある。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A また、事業開始当初から比べ、インターネットの普及やテレビ等と いった書籍以外からの情報が簡単に入手できるようになっていること を踏まえ、多様化する市民のニーズに対応したサービスを行うこと は、市が主体となって取り組むべき事業である。
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A (現状分析等) 財政状況が厳しい中、自主事業をより効果的に行えるよう内容を検 討する必要がある。 また、市民アンケートに基づいた図書館サービス、特に利用機会の 充実(開館日の拡充)を図ることは市民にとって有効である。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B (現状分析等) 多様化する市民のニーズに応え、より充実した図書館サービスを実 施するため、事業の効果等を見ながら、民間活力の活用や人件費 の見直しを検討していく余地はある。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input checked="" type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 市民のニーズの多様化と行財政改革の推進を踏まえながら、市民に親しまれ、市民の生涯学 習及び文化活動の発展に貢献できる図書館として、他課との連携、ボランティアや市民との協 働により読書活動の推進を図る必要があるとともに、財政状況の厳しい現状から、有効な補助 金等を活用し、財源を確保した施設設備の更新や、民間活力を活用した図書館サービスの向 上を図る必要があるため。
-------------------	---	---

改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果		改革改善による期待成果																						
	今後の取組みとしては、より市民のニーズに対応した蔵書の充実や施設利用の促進及び 資料の貸出、自主事業の内容についての改善を図り、読書活動の推進を図るとともに、図 書館の開館日の拡充や貸出冊数の拡充(5冊→10冊)、予約リクエスト数の拡充(5冊→ 10冊)など、市民のニーズに応える図書館として図書館サービスの向上を図っていく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------